

# 群馬県精神保健福祉士会 教育研修委員会 2024 年度 第 3 回会議議事録

2024 年 7 月 4 日(木) 19:00～(Zoom ミーティング)

司会：藤田 副司会：志村 議事録：小島

参加者：小林、桜井、小池、小淵、坂本、藤田、志村、三井田、関口、小島

## 1. 議事

小林：前回の会議を踏まえて、今後の会議の司会や議事録などの役割については、今まで通り持ち回りでやってみて、やりやすい形を探していく。講師等との打ち合わせの進行については理事がやっていくといいかも。

司会を主に全体で開催概要について確認と共有を行う。

◇研修の内容について

藤田：グループワークはどんなものかいいか

三井田：一つの事例をみんなで見てもいいのではないかと。いろんな見方ができると思う。

坂本：20 分の間に 3 人の講師の方にそれぞれロールプレイしてもらうよりは、1 人の講師の方に 1 つのロールプレイをお願いした方がいいのではないかと。

桜井：数をこなすのか、一個をじっくりやるのかをまず決めたほうがいいのではないかと。今回の研修の対象の若手に向けてなら、一つの事例について深めることがいいのではないかと。そのほうが若手も受け取りやすい。横沢さんともしゃべったが、講師でも意見が分かれると思う。一つのケースに沿ってやっていったほうが、時間がかからないのではないかと。

小林：講師側も事例を作るとしても一個のほうが作りやすいと思う。

志村：講師からの話はそれぞれやってもらって、事例は講師から代表して誰かひとりにやってもらった方がいいのではないかと。

桜井：事例もある程度講師と委員との間で「若手に何を受け取ってほしいのか」を共有しておくべき。インテークをとってもらった講師は一人がいい。

小林：一番重要なのは事例の作り方ではないかと。

藤田：このテーマを選んだのは、インテークで困った経験があるという声が多かったからで、講師の方 1 名に事例とインテークをしてもらう形でいきたい。

藤田：ロールプレイの時間はどのくらいのほうがいいか。

【前回の議事録見ながら、時間配分の認識を共有】

志村：ロールプレイは 30 分でいいのではないかと。グループワークが 40 分、発表が 15 分でどうか。

小林：大丈夫だと思う。

藤田：ではこの時間配分で決定したい。

藤田：グループワークの詳細については講師の打ち合わせで再度確認する。開会の哀切については坂本さんをお願いしてもいいですか。

坂本：だいじょうです

藤田：司会はどうですか

小島：自分がやります。

小林：お弁当はどうする。

桜井：今まで通り予算が出るのであれば、頼むのがいいのではないかと。新しい体制にもなったので関口さんにお弁当の種類を考える担当をお願いしてもいいかと。

関口：大丈夫です。

小林：今まで研修に参加した委員に1回ごとに交通費500円渡していたが、年度末に一気に渡すのでいいかと。

全員から了承が取れる。

小林：備品についてはどうするか

小池：事務局に確認してみる。ない場合は今までお願いしていた大島病院にお願いしていいかと

坂本：大丈夫です。

小林：募集について形式は、今まで通りグーグルホーム。締め切りは8月28日にしたいと思うがこれまで通り小林が担当でいいかと。

全員から了承が取れる。

桜井：チラシはこんな感じでいいかと。(PDFで画像を共有しながら)内容については色々決まり次第つめていければいいかと。

藤田：テーマについて決めていきたい。会議前に集まったものの中から多数決でいいかと。

全員から了承を得られる。

【休憩5分】

藤田：テーマを多数決で決めていきたいと思う。

多数決の結果、テーマ【『インテークを知ろう』～観て、考えて、自分のものに！～】となる。

藤田：決まったテーマでこの後桜井さんがチラシを再検討していただくかたちでお願いしてもいいですか。

桜井：大丈夫です。ロールプレイについては一旦横沢さんと桜井で詰める。その後細かいところについては委員に後日共有したいと思う。グループワークの投げかけの内容について検討したい。投げかけ内容が決まっていると、講師陣、グループワーク側もやりやすいのではないかと。ファシリテーターもきめられると。

小島：明日から実践できそうなところ、盗みたい技術とかでもいいのではないかと

坂本：ロールプレイを見たらうで「自分だったらこうできる」を聞いてみるでもいいかも

関口：講師がどんなポイントに気を付けて聞いているのかを考えてもらう。

志村：まとめるとロールプレイを見て持ち帰ったこと、自分ならどう広げていくか、講師が注意しているポイントを考える。最後にまとめという感じになる。

桜井：今出たものを講師と話し合っ決めていきたいと思う。

藤田：お願いしたい。チラシの発送はどうする。

小林：学生は対象にするか。

桜井：学生には少し難しいのではないかと。初任と経験年数5、6年まで当たりでいいのではないかと。

小林：今回は会員のみでいいか。講師への謝礼は今まで通り3000円でいいか。

全員から了承とれる。

藤田：次回の委員会の日程について決めたいと思う。

小林：お盆当たりがいいのではないかと。講師陣との打ち合わせと、次回の研修についても考えないといけないから。調整は8月上旬までにかけたい。また小グループについては正式に申請するのであれば小林のほうに一報入れて頂きたい。

桜井：理事から講師の方に予定をうかがってからかけるのがいいのではないかと。

全員から了承を得られる

小林：チラシや、グーグルホームでの募集はこの後、個別に確認を取って進めたい。

#### ◆協議結果

##### (1) 第1回研修会について

##### 【決定事項】

- ・開催時期：2024年9月1日（日）午後
- ・開催形態/会場 ⇒ 集合型/前橋市総合福祉会館（3階：第一会議室）
- ・研修内容：「インテークについて」
- ・研修の流れ：講師3名からのインテークについてのお話し⇒グループワーク・ロールプレイ・共有  
⇒詳細は検討事項へ

##### 【検討事項】

- ・講師：医療現場⇒上毛HP：反町さん
- ・社会復帰現場⇒アルカディア：井汲さん or 小林さん（今週中までにはわかる）
- ・相談支援⇒横澤さん

##### ・研修の流れ

#### ①開会【13:00~13:10】

- 1：開会の挨拶
- 2：趣旨説明
- 3：講師の紹介

#### ②インテークについて講師の発表【13:10~13:55】

- 1：講師①（15分）
- 2：講師②（15分）
- 3：講師③（15分）

話していただきたい内容

例：私流のインテーク、失敗体験、先輩から教わったもの、心に残っていること  
職場ならではの気を遣うところ

#### ③休憩【13:55~14:05】

#### ④観て、考えて、自分のものに【14:05~15:30】

1：ロールプレイ【14：05～14：35】（30分）

→ロールプレイの事例は講師の方々にお願いする。委員からも配員は可能と伝える。誰か代表で1事例や  
っていただいて、それを全員で見る。

2：グループワーク【14：35～15：15】（40分）

→ロールプレイを見て持ち帰ったこと、自分ならどう広げていくか、講師が注意しているポイントなどを  
考える。（細かい内容については講師陣と話し合ったうえで決定することとなる。）

3：発表【15：15～15：30】（15分）

⑤講師からのフィードバック【15：30～15：50】

⑥閉会【15：50～16：00】

1：まとめ

2：閉会の挨拶

3：事務連絡

・役割分担

（司会：小島 演者： 会場準備：委員全員 その他：開会→坂本 ）

(2) 2023年度 委員会会議について（案）

・次回委員会会議

日時： 8月 未定 日（ ） : ~

会場： ZOOM

→8月のお盆以降の開催を見込む

2. その他（連絡事項等）

・定例会研修周知